

ライフサイエンス・データベース講習会 in 名大

データベースアーカイブとTogoProt による データベース共有と統合化

ライフサイエンス統合データベースセンター(DBCLS) 畠中 秀樹 2010年8月9日

© ライフサイエンス統合データベースセンター/大学共同利用機関法人 情報·システム研究機構

(DBCLS)

生命科学系データベースアーカイブ

http://dbarchive.lifesciencedb.jp/

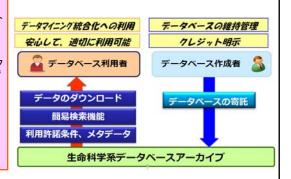
(サイト序文より)

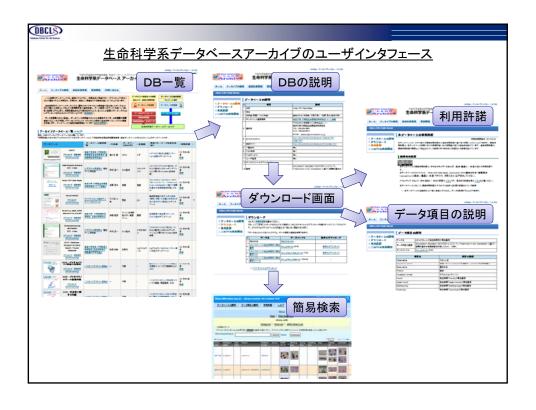
いくら良質なデータベースでも、説明が十分でない、利用条件が明確でない、ダウンロードできないなどの理由で十分に利用され、引用され、相応しい評価をうける機会を逃していることがあります。

生命科学系データベースアーカイブは、国内のライフサイエンス研究者が生み出したデータセットをわが国の公共財としてまとめて長期間安定に維持保管し、データ説明(メタデータ)を統一して検索を容易にすると共に、利用許諾条件などの明示を行うことで、多くの人が容易にデータヘアクセスしダウンロードを行えるようにするサービスです(詳細説明)。

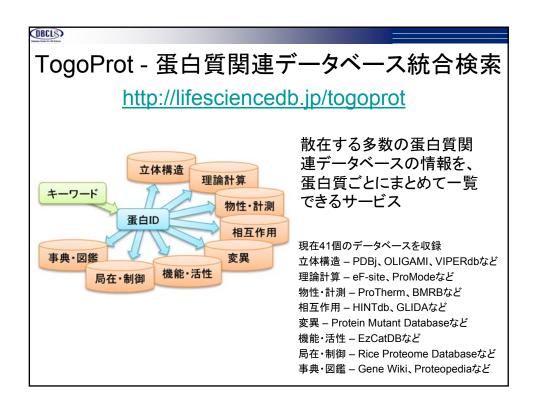
データを長期にわたり保全し、データベース作成者のクレジットを明示する一方、公的機関や民間等様々なユーザが利用しやすい形にすることで、それぞれの研究の生命科学へのいっそうの貢献を支援します。データベースの寄託を随時募集しています(<u>奇託応募要領</u>)。

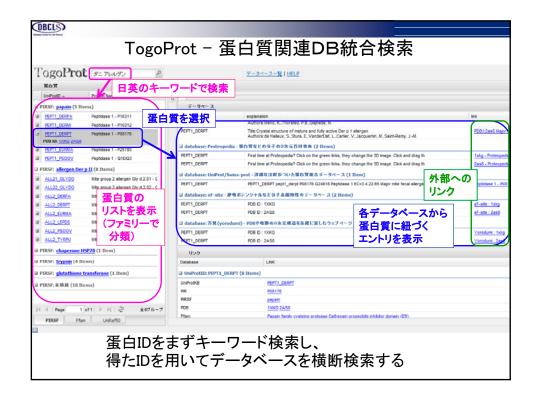
公的資金により産生されたデータを 将来にわたり誰もが容易に活用でき るよう、データベースを丸ごとダウン ロード可能な形で維持するサービス











(DBCLS)

蛋白ID、ファミリー、PDB IDによる統合化

- あらかじめ各DBの各エントリにUniProt ACなどの蛋白IDを付加 UniProtとは異なる仕組みで「蛋白質ごとのデーター覧」が可能
- 蛋白質ファミリーのIDやPDBIDも付加 ファミリーごとにデータをまとめて一覧したり、特定の立体構造に 関連したデータに限って一覧したりも可能



(DBCLS)

データ共有と統合化へのお誘い

- データベースをお持ちの方は寄託のご検討を
 → 簡単な審査 → 利用許諾検討 → メタデータ作成 → 公開!
- 未公開データの(公開+共有)のお手伝いもできるかもしれません
- これからデータベースを作られる方へ データ共有しやすい、統合化しやすいデータベースを 標準的なIDの積極的なご利用を

でも、まずは使ってみて下さい

そしてご意見を (サービスに含めてほしいデータベース、使用感、など)